

景況実感調査(2017年2月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 稼働日は20日と、前月より2日増となるも売上、数量ともに微増に終わった。タイト感、先高観は需要家サイドもともに共有化されているが、客先の仕事量が少なく、いま一つ躍動感に欠けている。諸口、店売り枠100%カットを受け、4月以降の玉切れも懸念されるが、新年度入りして実需に力強さが出て来れば、夏以降の需要はかなり期待できると思われるので、財源の手当てをしっかりと行きたい。足下は表面処理鋼板、酸洗材やカラーの一部も品薄となっている。したがって、安値は無くなっている。
- ② 中国の過剰生産能力削減の動きに加え、主要ミルの定修もあるので国内外ともに鉄鋼需要が緩むことないと見ている。しかしながら、国内需要が期待外れになると、価格反転の可能性もあると見ている。
- ③ 高炉メーカーの値上げが急であり、価格転嫁が間に合っていない状況。
- ④ 溶融亜鉛メッキ鋼板の引合いが増加している。
- ⑤ 引き続き高炉メーカーの強硬な値上げが実施されて、収益は厳しい。ロールもタイトで納期が大幅に遅れているので、在庫を大切に販売していきたい。

中板

- ① メーカーからの母材入荷が依然として低調であることから、引合いに対して材料供給できないケースが多く、売上高は前月比横這い状態。二次、三次特約店から在庫補充の動きが顕著に見られず一服状態で、本格的な需要の盛り上がりはまだ無いとうことかとも見られる。自動車関連の支給価格値上げの報道もあり、今後のユーザーの動きとユーザー価格交渉の本格化を期待し、しっかり対応して行きたい。

厚板

- ① 需要が減っている。値上げを転嫁できない。

—舟安开形鋼

- ① メーカー値上げ分に対し、積み残し分の価格転嫁を実行していく。
- ② 1月よりも引合い、荷動きは少なくなるも、営業日数1日増のお蔭で月を越せた。顧客の工場が閑散としている訳ではないが、もう少し仕事が欲しいところだ。現状では4~6月は厳しい。

II形鋼

- ① 2月の倉出しは減少し、前月と変化はなく土木向けは悪くない。メーカーの姿勢は変わらないので、値上げ玉が入庫するので早急に価格転嫁していく。
- ② 需要の盛り上がりがなく、市況がなかなか上がらない。我慢のときである。

異形棒鋼

- ① 店売りは低調であるが、一定量は変わらない。スクラップの 30 円/kg 超えでメーカーの赤字は確定し、値上げは早急となる。売れない中、3 月に段階的に店売り価格を上げていくことになるだろう。
- ② スクラップ価格の動向に左右され、値上げ転嫁の動きが停滞したが、原料事情の変化もあり、再びスクラップ高の状況となってきた。製品価格の値上げを更に推し進め、採算確保を目指して行く。

平鋼

- ① 荷動きは先月同様、小口当用買いで落ち着いていて盛り上がりには欠ける。荷動きが悪いのに加え、ユーザーとの価格に温度差があり、価格の転嫁も遅れている。値上がりした材料も入っているため、価格転嫁を急いでいく。

車量異形鋼

- ① 引き続き店売りが低調のため、値上げに一服感が出てしまっているが、値上げ玉が入荷して来ているので厳しい状況である。
- ② 1、2 月は前年比で微増であったが、3 月に入り下降気味。先行きが読めない。
- ③ 下請け仕事のため、数量の好不調の波が激しい。

鋼管

- ① 荷動きは 2 月中旬まで順調であったが、下旬から低調気味になっている。市況は、値上げ実施により強含みで推移している。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は各メーカーの国内生産が堅調に推移しており、また円安により輸出も比較的堅調な動きとなっている。建設機械関連は、中国向け等の輸出増加により回復しており、しばらくは続くと思われる。店売りの動きは、大きな変化なく横這いで推移している。各鉄鋼メーカーの値上げに伴い、値上がり材が入庫してきており、2 月後半より再販価格の値上げ実施を進めている。在庫は適正水準で推移している。
- ② 各メーカーの値上げ実施後の材料が、少しずつではあるが入荷して来ている中で、店売りの値上げが急務になっているが、状況は厳しく、苦戦している。

鋼材全般

- ① 2 月は今期最低の荷動きとなった。電話、FAX とも少なく、3 月まで続くと価格の転嫁が厳しい。板が品薄だが、それ以外は潤沢なため顧客の購買意欲が低い。

その他

<スクラップ>

- ① 製品価格も上がって来ているようなので、スクラップに関しても極端な下げ相場になることは考えづらいが、輸出リードによる値上げは潮目が突然変わる可能性もあるので、慎重に判断していきたい。

<金属表面処理加工>

- ① 2 月は紐付き、物件物ともに計画通り。スポットはここ数ヶ月間に比べて成約が活発で、計画より増となる。2 月中旬以降、緊急対応の物件が発生したことと、3 月期末納期の物件が集中することから、3 月も高操業の予想。